

硫酸カナマイシン注射液 1000mg 「明治」

【この薬は？】

販売名	硫酸カナマイシン注射液 1000mg 「明治」 KANAMYCIN SULFATE INJECTION 1000mg 「MEIJI」
一般名	カナマイシン硫酸塩 Kanamycin Sulfate
含有量 (1 アンプル中)	1g (力価)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アミノグリコシド系抗生物質と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、感染症の原因となる細菌を殺菌する作用があります。
- ・次の病気の人に処方されます。

<適応症>

表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、骨髓炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、淋菌感染症、子宮付属器炎、中耳炎、百日咳、肺結核及びその他の結核症

<適応菌種>

カナマイシンに感性のブドウ球菌属、肺炎球菌、淋菌、結核菌、大腸菌、クレブシエラ属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、インフルエンザ菌、緑膿菌、百日咳菌

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去に硫酸カナマイシン注射液「明治」に含まれる成分やアミノグリコシド系抗生物質またはバシトラシンで過敏症のあった人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・アミノグリコシド系抗生物質による難聴またはその他の難聴の人
- ・血族にアミノグリコシド系抗生物質による難聴またはその他の難聴の人がいる人
- ・重症筋無力症の人
- ・口から栄養を取りにくい人、口から栄養を取れない人、全身状態の悪い人
- ・腎臓に障害のある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○ショック（冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失）やアナフィラキシー（全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい）があらわれることがあるので、過去にアレルギーがあった人や薬で過敏症のあった人は、医師に伝えてください。

【この薬の使い方は？】

- ・この薬は注射薬です。
- ・使用量、使用回数、使用方法等は、あなたの症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において筋肉内注射されます。
- ・必要に応じて局所に使用されます。

〔肺結核及びその他の結核症に対して使用する場合〕

1回量	成人	カナマイシンとして1g（力価）
	高齢者（60歳以上）	カナマイシンとして0.5～0.75g（力価）
	小児 体重の著しく少ない人	適宜減量
使用回数	1日2回朝夕を週2日、または1日1回を週3日	

他の抗結核薬と併用されます。

〔その他の場合〕

1日量	成人	カナマイシンとして1～2g（力価）
	小児	体重1kgあたりカナマイシンとして30～50mg（力価）
使用回数	1日量を1～2回に分けて使用します	

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・ショック、アナフィラキシーがあらわれることがあります。冷汗が出る、めまい、顔面蒼白、手足が冷たくなる、意識の消失、全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しいなどがあらわれたら、ただちに医師に連絡してください。
- ・ふらつき、めまい、耳が聞こえにくい、耳鳴り、難聴があらわれることがあります。これらがあらわれたら、ただちに医師に相談してください。特に腎機能に障害のある人、高齢の人、長期にこの薬を使っている人で、これらがあらわれやすいので、注意してください。また、聴力検査がおこなわれることがあります。
- ・急性腎障害などの重篤な腎障害があらわれることがあります。尿量が減る、むくみ、体がだるい、高血圧などの症状があらわれたら、医師に相談してください。この薬の使用中は定期的に血液検査が行われます。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
第8脳神経障害 だいはちのうしんけいしょうがい	ふらつき、めまい、耳が聞こえにくい、耳鳴り、難聴
急性腎障害等の重篤な腎障害 きゅうせいじんしょうがいなどの じゅうとくなじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい、高血圧
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白、手足が冷たくなる、意識の消失

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	ふらつき、むくみ、体がだるい、冷汗が出る
頭部	めまい、意識の消失
顔面	顔面蒼白
耳	耳が聞こえにくい、耳鳴り、難聴
手・足	手足が冷たくなる
尿	尿量が減る

部位	自覚症状
その他	高血圧

【この薬の形は？】

性状	無色澄明の注射液
形状	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	カナマイシン硫酸塩
添加剤	亜硫酸水素ナトリウム、パラオキシ安息香酸メチル、パラオキシ安息香酸プロピル、クエン酸ナトリウム水和物

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：Meiji Seika ファルマ株式会社

(<https://www.meiji-seika-pharma.co.jp/>)

くすり相談室

電話：(0120)093-396、(03)3273-3539

受付時間：9時～17時(土、日、祝日および当社休業日を除く)